

No.790(1001年1月1日号)から
No.822(1001年12月11日)まで

No.790(1001年1月1日)

◇巻頭言◇全国各地に「まなび」の場を
IT革命で二一世紀は失業の時代に
二一世紀は希望の世紀か絶望の世紀か
—私の考える「三つの課題」—

全国に無数のユニオンを

—資本にゴツンと言ってやる「二一世紀春闘を

—連合、全労連の春闘方針から—

闘を越すとき、光はいよいよ光る

—ここからが真の勝負どころ—

資料1 国労闘争団が運輸・労働大臣に要請(2000年12月11日)

資料2、国労闘争団が求める解決要求(2000年11月)

不当判決、最高裁へ上告

—東京高裁「北海道・九州事件」判決への国労声明(2000年12月14日)—
読者からのおたより 編集部だより

滝野 忠
伊勢 太郎
藤澤 晃

小西 純一郎
吉原 節夫

佐久間 誠

No.791(1001年1月11日合併号)

◇巻頭言◇いいお正月デービル あけました21世紀

連帯・愛・友情が労働者の「倫理観」

—21世紀を展望した労働運動の構築—

国鉄闘争の前進を目指して

私たちは闘い続けます

あらためて総評労働運動の継承とは

—民間労組・ユニオン交流集会上に学ぶ—

2001年健保法・医療法「改正」

—経過と今後の動向と課題—

資料 2001年1月から患者負担はこう変わる

◇資料と解説◇

教育基本法改悪と憲法改悪は一体

「教育改革国民会議」に対する憂慮 日本ペンクラブが声明

衆参両院の憲法調査会

強まる「改憲のための機関」化

改憲阻止へ共同の気運

作られた二八年の空白

読者からのおたより

高田 健

神奈川郵政労働者人権を考える会

嶋崎 英治

河野 康臣

滝野 忠

大野地区国鉄闘争に連帯する会

原 義弘

No. 792 (二〇〇一年二月一日)

◇巻頭言◇ 護憲の戦線を中央と地方から

― 改憲の扉を開かせるな―

労働組合組織率は二一・五％に低下―二五年連続の記録をさらに更新―
名称は「日本経済団体連合会」に

― 経団連と日経連が統合へ―

資料 経団連と日経連の統合の理念および新団体の活動理念・行動原理

春闘は変質、終焉した!

編集部

― 日経連臨時総会から―

北教組(北海道教職員組合) 攻撃の実態

― 「日の丸・君が代」法制化と教育職場―

大倉電気争議、和解解決

新社会党、沖縄大衆党が共同候補擁立―東京地方区に新垣重雄氏推せんへ―

◇投稿 G市職労役員選挙◇

委員長・副委員長・書記長・財政部長の四人当選

「国家主義」強調が前面に

伊勢 太郎

― 「政治主導は幻想」、省庁再編の将来―

好況から不況への転換点に

― アメリカの金利引き下げの意味するもの―

読者からのおたより

編集部だより

No. 793 (二〇〇一年二月一日)

◇巻頭言◇ 人間の歴史、日本近代史から学ぶ時

松枝 佳宏

― 二一世紀を「人間の世紀」へ―

成果・成績主義の行方と労働運動の課題

◇資料1 果敢に構造改革に挑戦(日経連会長あいさつ)

◇資料2 「抵抗」「要求」から「参加」へ(連合二一世紀宣言)

「戒厳令」下の国労大会

赤峰 正俊

― 二〇〇一年一月二七日は新たな闘いの出発点―

◇資料3 解雇撤回・地元JR復帰を闘う闘争団有志(仮称)◇

私達は要求実現まで、政府・JRを相手に闘い続けます

二〇〇一年一月二七日

◇資料4 国労闘争団・有志の声明(二〇〇一年一月二四日)

◇資料5 国労への「要請書」(厚生労働省記者会)

進行中の国家再編と地方自治体

上野 義昭

― 地方分権の現段階(上)―

森と「薮(ブッシュ)」に未来はあるか

伊勢 太郎

― 世界政治に変化の兆し―

読者からのおたより

編集部だより

No. 794 (二〇〇一年二月二日)

◇巻頭言◇『JRに責任なし』認めず

政府・JRの責任追及強化を

国労音威子府闘争団

今、試されているのは教師や

国労統開大会から見えてきたこと

横田 厚

職場はまるで「郵政奴隷工場」

資料1 平成十二年度郵政事業経費節減運動について

—「郵政スリム化計画」の実施—

資料2 交通事故無事故の誓約

市町村合併、そして公務員制度再編

上野 義昭

—進行中の国家再編と地方自治体(下)—

日航機ニアミス事故に思う

「障害者の社会参加」を目指す

太田 耕造

—二人の仲間の急逝を悼む—

労組幹部よ、現場に目を!

読者からのおたより

No. 795 (二〇〇一年三月一日)

◇巻頭言◇教育基本法と憲法の危機

カストロ、日本教育「改革」、そして朝鮮(上)

澤野 義一

横堀 正一

疾風怒濤の時代はまじか

滝野 忠

—「世紀末」状況の政治、経済、文化—

新社会党結党五周年の集い

◇資料と解説◇

「新時代の労使関係の課題と方向」(日経連)について(上)

NIT合理化の現状と我々の課題

共に闘ってください

国労稚内闘争団

—「四党合意」だけを決める大会を終えて—

◇資料2 国鉄闘争に関する重野社民党議員への要望書(二〇〇一年二月十日)

『人らしく生きよう—国労冬物語』

—第6回平和・共同ジャーナリスト基金奨励賞を受賞—

一二七九人職員定数削減!

東京都庁職

—「平成一三年度東京都予算知事原案」に対する抗議と復活を求める声明—

読者からのおたより

No. 796 (二〇〇一年三月一日)

◇巻頭言◇ブッシュ・アメリカ政権と世界のゆくえ

「船乗りとして許せない」 — えひめ丸事故の本質 —

◇最高裁判所への手紙◇人として生きる権利を

なぜ今、「教育改革」か? (上)

— 総保守の「遠慮深謀」 —

劇的に変化した朝鮮半島情勢

— カストロ、日本教育「改革」、そして朝鮮(下) —

◇資料◇「新時代の労使関係の課題と方向」(日経連)について(下)

海でのケガは「化膿する」

◇資料◇ 諫早湾の干拓を中止し水門をあける(二〇〇一年一月二八日)

自民党運動方針案、「国民の憲法」を提起

「春闘」、参院選、メーデー

— ユニオン連合の最近の動き —

二〇〇一年度予算案の問題点

読者からのおたより

伊勢 太郎

原田 清美

横堀 正一

No. 797 (二〇〇一年三月二日)

◇巻頭言◇自公保政権はダメ、民主党はもっとダメ!

財政黒字、教育、そして軍事費—ブッシュのアメリカのゆくえ—

「カエサル主義」の時代—現代政治状況に関連して—

脳死状態の日本外交—フジモリ問題でさらに混乱か—

石原 慎太郎という人—都議選・参院選で私たちの、「ビック・レスキュー」を—

政治混乱のなかで進む反動化—なぜ今、「教育改革」か(中) —

読者からのおたより

編集部だより

横堀 正一

No. 798 (二〇〇一年四月一日)

◇巻頭言◇—「五五年体制」崩壊と日本政治—

「団結腕章」は京成組合員のシンボル

— 二〇〇一年春闘と私たちの闘い —

将来の夢や希望を取りもどそう

— 神奈川中央交通の現場から —

◇全労協全国一般東京労組◇

東急バス労組を脱退、存在感のある組合をめざす

何が変わったのか—二〇〇一年春闘から—

「闘う国労闘争団」が発足—国労大会後の国労の動向—

他界した夫のためにも「全面勝利」を!

アメリカン・バブル崩壊と世界経済のゆくえ

読者からのおたより

大嶋 甲三

神奈中権立会

三浦 成代

No. 799 (二〇〇一年四月一日)

◇巻頭言◇「JRの不当労働行為は許さない！国労闘争団共闘会議」結成へ

解雇撤回・地元JR復帰を闘う闘争団の決意と訴え(二〇〇一年三月三〇日)

闘う闘争団への支援は全労働者の責務

闘う闘争団を支持し、共に闘う三・三〇連帯アピール

千葉「知事選」の衝撃

裁判十一年、三月二六日恵泉寮に全面勝利の判決

二十一世紀初春闘―労働組合が問われている―

ストライキをやりたい―資本の「非人間性」を問え―

成果主義賃金の矛盾あきらかに―富士通が「見直し」へ―

ドイツで三百万人の大単産が誕生―三月二三日、スト決行―

戦争政策にひた走るブッシュの外交政策―日本政府はそれに全面追随―

「不適格」公務員の排除・選別ねらう―国家権力強化ねらう公務員制度改革―

四党合意は敵の懐柔策―国労北海道本部大会報告―

ねむるブタでは「力」にならぬ

読者からのおたより

No. 800 (二〇〇一年四月二二日)

◇巻頭言◇「サンピア」十周年記念祝賀会

アジアの緊張高める教科書問題

「幻想の共同体」としての国家 ―なぜ人は愛国主義に弱いか―

緊急経済政策、ゼロ金利復活の政治経済学―大企業の救済、犠牲は国民に転嫁―

自民党総裁選は橋本で「決まり」か

須藤さん、秋田地裁で勝利

読者からのおたより

編集部だよ

佐久間 誠

藤澤 晃

No. 801 (二〇〇一年五月一・二日合併号)

◇巻頭言◇グローバリズムの時代からナショナリズムの時代へ

改憲 ―「軍隊」は国民を守らない―

二〇〇一年春闘をかくたかかった

―「新時代の日本的経営」貫徹が現れた二〇〇一年春闘―

介護保険でみんなが疲労困憊―高見の見物決め込む厚生労働省―

「闘う闘争団」結成へで国労に新たな動き

◇資料1◇ 国労旭川地区本部「意見書」(二〇〇一年四月五日)

闘争団オルグへの「三つの質問」

◇資料2◇ 解決を阻害する「反組織的行動」等に対する国労の見解(二〇〇一・四・二二)

「闘う闘争団」で指示発出

五・三憲法集会にご参加を

―午後一時から日比谷公会堂で―

ある酒屋の閉店 ―足元で起こっているデフレの危機―

読者からのおたより

野上 昭

滝野 忠

呑駄 馬兵

京成労組・乗務分会

滝野 嘉津子

No. 802 (二〇〇一年五月二一日)

◇巻頭言◇老人医療費助成制度改悪反対署名の開始

原 義弘

老人医療費助成制度の改悪で一万五千人を切り捨て

老人医療制度を守る連絡会

―老人医療制度とは？ 老人医療・福祉医療・保険医療は連動している―

水戸のご老公と「金正男」

滝野 忠

小泉内閣と日本政治のゆくえ

公務員制度改革と労働運動の課題(上)

「闘う国労闘争団とともに闘う共闘会議(準)」結成集会

―五月三日、東京・日比谷公会堂で―

潮止めから四年 ―陸でも有明再生求め全国集会―

若者にもつと訴えよう ―五・三憲法集会から―

参院選めぐり動きはさまざま ―G市労連からの報告―

読者からのおたより

No. 803 (二〇〇一年六月一日)

◇巻頭言◇死ぬな、辞めるな、あきらめるな

滝野 忠

―「小泉改革断行内閣」「郵便新生ビジョン」「公社化」に抗して―

―かれん誅求の時代が国民を襲う―

世界的にひろがる大規模首切り ―アメリカ、ヨーロッパ、日本― 伊勢 太郎

教育改革と公務員制度改革は一体 ―公務員制度改革と労働運動の課題(中)―

小泉総裁誕生でびびる管理者 神奈川郵政労働者の人権を考える会

読者からのおたより

No. 804 (二〇〇一年六月一日)

◇巻頭言◇読みとる目を持つ

横田 厚

失業問題に危機感深める―最後の日経連総会―

◇資料1◇ 小泉総理メッセージ(平成十三年五月十七日)・全文

「新世紀維新」の構造改革の断行

「化け物」と「妖怪」の徘徊―小泉政権の一ヶ月―

人間の尊厳を回復したハンセン病訴訟

佐藤 昭一

―「国鉄闘争」への大きな教訓―

◇資料2◇ ハンセン病訴訟国の責任確定で原告団と弁護団が声明(全文)

三木の学校給食、民間委託反対に学ぶ

―住民の健康と福祉を守る闘いの構築を―

ベルルスコーニと日本のジャーナリズム

議会の党派構成に大変化 ―市町村合併の一断面―

小林 義昭

「郵政事業新生ビジョン」合理化と対決―二〇〇名をこえる仲間が結集―

未曾有の大合理化を提案―郵政事業新生ビジョン(案) 出る―

読者からのおたより

編集部だより

No. 805 (二〇〇一年六月二一日)

◇巻頭言◇川田えつこさんの講演は国鉄闘争の未来

矢田 昌三

― J R の不当労働行為は許さない五・三〇共闘会議 (準) 結成集会」に参加して―

◇資料1◇ 二一世紀の輝ける一步を

内田 泰博

私たちは国労運動を継承し、運動をすすめる

◇資料2◇ がんばれ闘争団ともにGO! 五・三〇集会アピール

人権侵害を許さず、社会正義を実現

◇資料3◇ がんばれ闘争団「行動提起」

滝野 忠

あふれかえる熱気、あふれる集会

―「五・三〇共闘会議(準)結成集会」から―

郵政民営化で地域社会はさらに荒廃―郵政民営化は金融資本の悲願―

連合労働運動の現状について

小泉「改革断行」内閣で失業はさらに増加 ―失業発生構造は重層的―

強制配転大反対 ―人の道にはずれている―

読者からのおたより

編集部だより

No. 806 (二〇〇一年七月一日)

◇巻頭言◇ 公務員制度「改革」は自治労破壊攻撃

財界からも見放された英保守党

職場の実態から討論を ―はじまった組合大会―

公務員制度改革をめぐる動き―自治労、公務員連絡会の対応とわれわれの課題(上)―

自治体労働者への賃金削減攻撃との闘い(上)

高橋 孝夫

三十年おくれのサッチャーリズム ―小泉「構造改革」で日本経済はさらに混乱―

◇資料◇ 二〇〇一年六月一四日 解雇撤回・地元J R 復帰を闘う国労闘争団

I L O 派遣第二次代表団の報告と私たちの決意

読者からのおたより

No. 807 (二〇〇一年七月一日)

◇巻頭言◇ 文明社会と失業問題

自治体労働者への賃金削減攻撃との闘い

自治体当局の動向 ―公務員制度改革をめぐる動き(下)―

保守化つよめるブッシュの安保政策

―ブッシュのアメリカの国際、国内政策(上)―

アリが蜜に群がるように ―「天国」の後ではエンマ様が待つ―

小泉「改革」は何をもたらすか

―中曽根第二臨調との関連から(上)―

読者からのおたより

No.808 (二〇〇一年七月二一日)

◇巻頭言◇ 続・死ぬな！ やめるな！

危険な小泉政治 ― 参院選は人間復活の闘い―

「人間尊重教育」のかけ声の背後で

―「増田さんを学校に戻せ」報告集会―

小泉「構造改革」がもたらすもの(下)

男女雇用機会均等法で差別いつそう深刻に

―富国生命闘争をふりかえって―

危険―教科書があぶない

―「作る会」教科書の採択を許すな―

核、ミサイル、軍拡で保守化をまっしぐら

―ブッシュ・アメリカの国際・国内政策(下)―

読者からのおたより

No.809 (二〇〇一年八月一・二一日合併号)

◇巻頭言◇『記・紀』世界に回天する日本政治

「改革」

◇資料1◇ 歴史教科書問題 韓国国会の決議(要旨・七月一八日)

歴史のわい曲は断じて許さない

小泉「改革」の背後ですすむ政治反動

―教科書、靖国とアメリカとの同盟―

組合大会の特徴I

―大競争、不況、新たな民営化攻撃のなかで―

「参加」推進で職場無視(連合)

◇資料2◇ 「公務員制度改革の基本設計」に関する見解(連合官公部門)

十万人「合理化」進行中(NTT)

郵政民営化で「組織統合」急浮上(郵政)

「国鉄方式」が小泉改革の手法なのに(JR)

私鉄総連大会「四単産合同」方針を否決

予想を大きく下回る実績

―利用状況調査から介護保険を検証する―

参議院選挙の結果について

『国際平和都市千代田区宣言』に逆行

―「新しい歴史教科書をつくる会」編集の教科書不採択を求めます―

秋田でも「小さな旗上げ」

―「闘う国労闘争団」に連帯する集会―

「国労闘争団を守る会」(仮称)運動を職場に地域に広げて

―パンフ『人間の尊厳を取り戻したい』発行―

読者からのおたより

滝野 忠
呑駄 馬兵

伊勢 太郎

No. 810 (二〇〇一年八月二一日)

◇巻頭言◇ 全国に社会通信『読者の会』を

全国地区労交流会そしてコミュニティ・ユニオン全国交流集会
ここが変だよ完全民営化法案報道

町に右翼がやってきた

◇資料◇ 日経連が教育問題で見解を発表

「今後の教育免許のあり方」 〓 免許更新制の必要性も強調

組合大会報告(Ⅱ)

春闘改革、組織統合が焦点

春闘改革の一環「エントリ―方式」導入へ(電機連合)

私鉄総連がなくなるこの不安(私鉄総連)

進む「産別組織」の合同

世界情勢の特徴について―先進国首脳会議から―

読者からのおたより

編集部だより

No. 811 (二〇〇一年九月一日)

◇巻頭言◇ 科学と現代

求められるのは幅広い知識と倫理観

なぜ今、靖国、教科書問題か

灰原茂雄先輩に学ぶ! ―学舎・西ヶ原寮と反合研運動―

二つの「トップ・セミナー」 ―日経連と連合の夏期合宿から―

資料 日経連の「緊急雇用対策プログラム」 セーフティ―ネット構築へ

現情勢と労働組合の課題―地域ユニオン発展のために(上)―

最高裁が棄却決定 ―神奈川胸章裁判―

神奈川人権を考える会

読者からのおたより

No. 812 (二〇〇一年九月一日)

◇巻頭言◇ 大量失業時代の到来

―失業率5%台突入の意味―

◇資料◇ 連合、全労連の談話

今や職場は戦場

◇資料と解説◇ 統一要求基準の明示を(全国一般・春闘総括)

二〇〇一年春闘結果は三極化

国鉄闘争の現局面と課題(上)

「この暑いのにネクタイ? アホちやう?」

現情勢と労働組合の課題 ―地域ユニオン発展のために(下)―

郵政でも「不適合」職員の規定 ―「分限処分」も検討する―

俳句

読者からのおたより

田島 省三

滝野 忠

No. 813 (二〇〇一年九月二一日)

◇巻頭言◇ 逆「窮鼠猫を噛む」をゆるすな

佐藤 昭一

―約二ヶ月遅れの全国大会に異議あり―

タカ派都知事お勧めの「最良の教科書」の 教育現場への押しつけはごめんです

JRの不当労働行為は許さない・首切り反対

―国鉄闘争勝利9・25集会―

◇組合大会の特徴Ⅲ◇ 雇用問題、行革が大会の焦点に

◇資料◇ 経済非常時を覚悟すべきだ「日経連タイムス」主張(二〇〇一年九月九日)

国労稚内闘争団

「四党合意」で何も出ない!

―今度の定期大会は本部の責任が問われる大会だ!―

「かれん誅求」の時代の始まり ―小泉「改革」のもたらすもの―

編集部

俳句

田島 省三

読者からのおたより

No. 814 (二〇〇一年一〇月一日)

◇巻頭言◇ アメリカへの同時テロについて

編集部

◇資料1◇ 「富の象徴」に途上国が反発

◇資料2◇ 米同時テロ 過剰報復の誘発が狙い

有明海の再生を求めて ―諫早湾水門の即時解放を―

谷口 良隆

矛盾の解消は組織内から

国労名古屋闘争団

―国労全国大会にむけ議論を―

「郵政民営化阻止」二つの見解

神奈川県人権を考える会

―選挙違反で逮捕者続出―

「ならず者」国家Ⅱ米国 ―映画『13デイズ』を観て―

北上 秋介

読者からのおたより

No. 815 (二〇〇一年一〇月一日)

◇巻頭言◇ 強者の論理に抗する弱者の連帯を

報復戦争反対、日本は平和的解決に努力せよ

テロより地震の「危機管理」を ―全労協が「報復戦争反対」で国会前座り込み―

新たな道を歩む

矢田 昌三

―大分県『国鉄闘争に連帯する会』第一(七) 回総会報告―

国鉄闘争再構築の方針 ―九・二五集会基調―

「聖域なき」構造改革・医療介護版

滝野 嘉津子

―「社会保障基礎構造改革」の進展―

「俳聖」芭蕉もまっさお ―九・一五秋の句会顛末記―

龍念

俳句

田島 省三

読者からのおたより

No. 816 (二〇〇一年一〇月二一日)

◇巻頭言◇ まったく不透明なOS (アウトソーシング) 会社
首切りは許さない!

「狂牛病」が問う日本の農と食

ガンガン冷房のきいた部屋で

情勢にふりまわされずに、どっしりと構えよう

—新自由主義に対抗する労働者側の構想をうちたてよう—

「国労闘争団とともにたたかう会」が結成

◇資料◇ 「たたかう会」結成宣言

国労定期大会への感想

◇投稿◇ 何か欠けてはいないか

再編の中で地域労働運動を残す

—第二十二回全国地区労交流会の報告—

中村 平治

読者からのおたより

国労第六八回定期大会の報告集

とき 二〇〇一年一〇月二五日(木) 一八時三〇分

ところ 労働スクエア東京 六〇一会議室

地下鉄日比谷線 八丁堀下車徒歩二分

電話 〇三―三五五二―九一三一

No. 817 (二〇〇一年一二月一日)

◇巻頭言◇ 「国家テロ」と労働者階級の反撃

稲葉 耕一

方針案の実行が問われている —連合第七回大会のリポート—

編集部

◇国労大会の意味したもの◇ 「反対グループ」が国鉄闘争の方針、展望を提起

資料1 秋田地本における組合事務所売却と

組織問題に関する調査委員会の設置を求める動議

資料2 運動方針(案)の追加について

資料3 修正動議(「闘いの基調」について)

資料4 修正動議(一年間の諸課題と闘い)について)

◇資料と解説◇ 自治労不正疑惑で連合・自治労が見解

資料5 自治労の不正疑惑問題に対する見解(連合・二〇〇一年一〇月一六日)

資料6 自治労の見解 結成いらい最大の危機

統一要求基準を放棄 —連合の二〇〇二年春闘構想—

狂牛病問題、新たな問題に発展!

◇投稿◇ 組合運動、病弱者と健常者の間で

読者からのおたより

編集部だより

No. 818 (二〇〇一年一月二日)

◇巻頭言◇「カラスと自然と現代人」

「長期抵抗・統一路線」を読んだ

会社の意のままになる組合よりも — 労働者の立場に立つ組合を選びました —

「民営化反対」の火を燃やしつつけよう

— 特殊法人民営化に抗して —

新たな闘いの狼煙は上がった

— 国労第六八回定期全国大会を終えて —

大原社研の「向坂文庫」

「定年後の再雇用」提案 — 差別の上乗せだ —

根っ子から腐っている

詩 マジエラ (さまよう命)

俳句

読者からのおたより

編集部だより

西脇 正治
木村 哲蔵

柳沢 淳

瀧口 良二

武内 敏子
田島 省三

No. 819 (二〇〇一年一月二日)

◇巻頭言◇ 支持率と人気のあいだ

長期戦の様相示す「アフガン戦争」

「收拾ではなく休戦だ」

— 第二次鉄道業務効率化の闘いの收拾にあたり —

「白い粉」事件発生? — なってない当局の危機管理 —

◇資料と解説◇ 日経連と連合の「雇用に関する合意」について

資料1 日経連・連合 雇用に関する社会合意 (全文・十月十八日)

経営側は「失業を抑制」、労働側は「賃上げに柔軟に対応」

◇資料2◇ 雇用で社会合意を推進しよう『日経連タイムズ』主張

合意は高コスト是正に意義

読者からのおたより

京成労組電車支部

伊勢 太郎

No. 820 (二〇〇一年二月一日)

◇巻頭言◇ 戦争前夜

「いつやめたら得か」でなく人間的な連帯を求めた闘いを

— 労働運動の現局面と課題 —

新聞ジャーナリズム再編の一步か — 産経新聞が夕刊廃止へ —

『社会通信読者会』を全国に作り出合いを楽しもう

東芝二万人リストラは、労使密室の取引だった

「NTT・十一万人合理化」反対集会が大成功

ユニオンの着実な成長を実感

— コミュニティー・ユニオン全国交流会から —

「反首切り・リストラ! 国鉄闘争勝利!」集会にご参加を

川柳一句

読者からのおたより

編集部だより

小西 純一郎

赤梅

編集部

伊勢 太郎

No. 821 (二〇〇一年二月一日)

矢田 昌三

◇巻頭言◇「二〇〇三年四月に」原職復帰！
神戸市では一万五千人が非該当に！ | さらなる老人医療改悪の攻撃 |
いじめ・不登校の原因は

| B市立Q小学校における暴力・いじめ事件の経過 (二) |
オランダモデルと日本的ワークシェアリング (一)
俳句

編集部
田島 省三

読者からのおたより

No. 822 (二〇〇一年二月二日)

◇巻頭言◇ 死ぬな！ 辞めるな！ 闘おう！ | 反対勢力統一の礎を築く |
◇オランダモデルと日本的ワークシェアリング (二) ◇

編集部

オランダには野党がない

| 「ワッセマー合意」は大政翼賛政治の産物 |
いじめ・不登校の原因は

| B市立Q小学校における暴力・いじめ事件の経過 (二) |
労働組合の民主化に全力を

| 連合流「自己改革」は第二の産業報国会化への道 |

腐敗、利権、ムダ排除
| 特殊法人「改革」への基本視点 |

町から働く場が消えていく

炭鉱が消えた

四〇%賃金カット

| たたかう他に生きる術はない |

読者からのおたより